

カトリック河原町教会だより

2024年9・10月

教皇フランシスコ 希望は欺かない—2025年の通常聖年公布の大勅書(抜粋)

「希望はわたしたちを欺くことはありません(Spes non confundit)」(ローマ5・5)。わたしは、聖年を過ごすためにローマを訪れる人たちと、使徒ペトロとパウロの町に行くことはかなわずとも部分教会において聖年を祝う人たち、そうしたすべての希望の巡礼者のことを思います。すべての人は希望を抱きます。明日は何が起こるか分からないとはいえ、希望はよいものへの願望と期待として、一人ひとりの心の中に宿っています。けれども将来が予測できないことから、相反する思いを抱くこともあります。信頼から恐れへ、平穩から落胆へ、確信から疑いへ。聖年が、すべての人にとって、希望を取り戻す機会となりますように。

2025年の聖年は、これまでの恵みの行事の連なりの中にあります。前回の通常聖年には、イエス・キリストの生誕2000年の節目を越えました。それに続いて、2015年3月15日にわたしは神の「いつくしみのみ顔」を明示し、すべての人がそのみ顔と出会うことができるよう特別聖年を宣言しました。そして今、新たな聖年の時が来ました。この聖年の間に聖なる扉が再び大きく開かれ、キリストにおける救いという確かな希望を心に呼び起こす、神の愛の生きた体験がもたらされます。さらにこの聖年はもう一つの記念に向けた歩みになります。まさしく2033年には、主イエスの受難と死と復活によってなし遂げられた、あがないの2000周年が祝われます。このようにわたしたちの目前には、いくつものすばらしい過程を伴う道が広がっています。この長い伝統に支えられ、この聖年は全教会にとって恵みと希望の濃い体験となることを確信し、わたしはバチカンのサンピエトロ大聖堂の聖なる扉が、本2024年12月24日に開かれ、それをもって通常聖年の開始とすることを定めます。また2024年12月29日の主日に、すべての司教座聖堂において、教区司教は聖年の荘厳な開幕として、感謝の祭儀を、その機会のために準備される儀式書に従ってささげるよう定めます。聖年の免償は、部分教会での聖年を祝うための儀式書に収められた規定に従って受けることができます。通常聖年は、2026年1月6日、主の公現の日に、バチカンの教皇バジリカ、サンピエトロ大聖堂の聖なる扉が閉じられることをもって閉幕します。主イエス・キリストの再臨を信頼のうちに待ちながら、わたしたちの今が希望の力で満たされますように。わたしたちの主イエス・キリストに賛美と栄光が、今も、世々に至るまで。



教会の様子(インスタグラムより)



世界代表司教会議（シノドス）第16回通常総会『シノドスハンドブック』

洛東ブロック担当司祭 瀧野 正三郎

* 2024年7月31日に発効された『シノドスハンドブック』の一部を紹介します。

◎今回の「シノドス」では、会議も独自なものだったそうですね？

確かに、第一会期の進め方もユニークなものでした。教会の将来の会議の姿を先取りするかのようでした。というのも、今回は世界中から司教、司祭、奉獻生活者、宣教師、信徒が参加したからです。女性も数多く参加して、総勢400名以上の参加者でした。そして、皆で丸テーブルを囲んで一か月間におよぶ話し合いを重ねました。そこで使われた手法が「霊における会話」というものでした。

◎なるほど、ずいぶん様変わりした「シノドス」なのですね？

そうです。準備の段階から世界中の多くの人々が何らかの形で参加しました。そしてシノドス総会では、具体的な課題について自由に話し合いを重ねました。まさに「シノダリティのためのシノドス」を実践しています。「シノダリティ」とは「ともに歩む」ことですので、多くの人々が参加するのはよいことです。

◎何か具体的な問題や課題があって「シノダリティ」に目覚めるのでしょうか？

教会はその初めから「ともに歩む」ものでした。「すべての人に対してすべてのものになりました」（一コリント9章22節）と使徒パウロが語るように、教会は偉ぶることなく数多くの人々と歩みをともにするのです。

変化する現代社会を批判して、教会が世界に対して背を向けるのは簡単です。しかし、教皇フランシスコが求めているように「出向いて行く教会」になるためには、教会が神からいただいた「シノダリティ」、「ともに歩む」という特性と、その美しさに気づく必要があるでしょう。

◎今回の「シノドス」で何かが変わるのでしょうか？

具体的に何が変わるのかは、はっきりとは分かりません。しかし、教皇フランシスコの次の言葉は大切なものです。

「このシノドスとはシノダリティについてのものであり、他のあれこれのテーマについてはありません。……重要なのは、考察する方法、つまりシノドス的方法です」。

教会がたくさんチャレンジや課題を抱えているのは確かです。しかし、問題解決のために結論を急ぐのではなく、教会が備えている「シノダリティ」、「ともに歩む」という美しい特性を多くの人々と共有し、それから「シノドス的」教会へと歩んでいくようにと努力することが求められているのです。

◎日本のカトリック教会は「シノダリティ」のために何をやるのでしょうか？

救いはもう「すでに」到来していますが、しかし「まだ」完成していません。教会は救いの完成に向けて歩むのです。この考え方に従えば、すでに日本のカトリック教会は「ともに歩む」教会となっています。

もう「すでに」、わたしたちの教会は1980年頃から、言葉の違う人々、文化の違う人々と歩む教会を目指してきました。また、社会の中で置き去りにされている人々に寄り添う教会となりました。しかし「まだ」完全ではありません。

そこで、より「ともに歩む」教会となっていくためには欠かせないものがあります。

①立場の異なる人を尊重し、ともに共同体を作る。②ともに祈り、祈りを分かち合う。そして分かち合ったものをともに聞く。③神が望んでおられることにともに気づく。この三つです。

シノダリティをよく表し、それを生きるために、「霊における会話」という方法が有効であるという事実を、第一会期を通じて知りました。そのため、日本のカトリック教会は、この「霊における会話」を多くの方々に体験してもらいたいと考えています。



敬老感謝意向のミサとミサ後の茶話会

9月15日 10:30 から敬老感謝意向のミサが瀧野神父様の司式により執り行われました。ミサ後には茶話会が40名を超える参加者のもとヴィリオンホールにて行われました。瀧野神父様の挨拶の後、皆様久しぶりの再会を祝い、楽しいひと時を過ごされました。



戦争と平和写真展

8月10日・11日の戦争と平和写真展に多くの方が来られました。



夜の前庭とヒルトン京都



英語ミサ(ホルへ神父)



洗礼式後(瀧野神父)

2024年10月～12月までの主な予定◇(予定は変更になる場合があります)◇

月	日	曜日	行事予定
10	6	日	[年間第27主日] 10:00 ロザリオの祈り喜びの神秘
	13	日	[年間第28主日] 10:00 ロザリオの祈り光の神秘
	20	日	[年間第29主日] 10:00 ロザリオの祈り苦しみの神秘 世界宣教の日(献金)
	27	日	[年間第30主日] 10:00 ロザリオの祈り栄えの神秘
11	1	金	諸聖人
	2	土	死者の日 諸死者追悼祈願ミサ 18:30
	3	日	[年間第31主日] 京都教区物故者追悼および死者祈念ミサ 14時
	10	日	[年間第32主日] 七五三お祝い 10:30 ミサ中
	17	日	[年間第33主日] 貧しい人のための世界祈願日 聖書週間(～24日)
	24	日	王であるキリスト(年間第34週) 世界青年の日
12	1	日	[待降節第1主日](C年) 宣教地召命促進の日(献金)
	3	火	聖フランシスコ・ザビエルの祝日 京都教区司教座教会献堂記念ミサ 10:30
	8	日	[待降節第2主日] 菅原神父霊名<アンノ 12/5>のお祝い 10:30 ミサ中
	9	月	無原罪の聖マリア
	15	日	[待降節第3主日] クリスマスチャリティーコンサート 14:00
	22	日	[待降節第4主日] ナン神父霊名<ステファノ 12/26>のお祝い 10:30 ミサ中 市民クリスマス 18:00 Sr.テッシー
	24	火	主の降誕(夜半)ミサ 18:30・21:00
	25	水	主の降誕(日中)ミサ 7:00・10:30・13:00(英語)
	29	日	聖家族 瀧野神父霊名<ステファノ 12/26>のお祝 7:00 ミサ中 2025年聖年開幕ミサ 10:30



主日ミサ(集会祭儀)の時間

土曜日 18:30

日曜日 7:00、10:30、
12:00(英語・第2第4のみ)

週日ミサの時間

水曜日 9:30(休止中)

金曜日 10:30

最新の情報はウェブサイト参照

講座の時間(休講の日も有り)

※瀧野神父様の講座は全て休止中です

これから洗礼を受けられる方向け

洗礼準備講座

土曜日 11:00(菅原神父)

一般向け

キリスト教入門講座

金曜日 19:00(瀧野神父)

「キリスト教の輪郭」

キリスト教入門講座

土曜日 16:00

(Sr.テッシーのチーム)

「こころにひかりを」

養成講座(信徒・一般向け)

読書会

遠藤周作「キリストの誕生」読書会

水曜日 10:00(瀧野神父)

聖書通読会

木曜日 11:00(菅原神父)

聖書の集い

金曜日 11:00(Sr.テッシー)

聖体顕示式

第3土曜日 15:15(菅原神父)

「ガラテヤ書」を読む

第1土曜日 19:20(菅原神父)

「マルコ福音書」を読む

第2日曜日 11:40(菅原神父)

「これから洗礼を受けられる方向け」は事務室か

rakuto.nyumon.class@gmail.com
まで事前にご相談ください。

カトリック河原町教会だより 2024.9・10 カトリック河原町教会広報部発行

〒604-8006 京都市中京区河原町三条上る下丸屋町423 発行責任者:洛東ブロック司牧チーム

TEL:075-231-4785 FAX:075-211-8021 URL:<http://CatholicKawaramachi.Kyoto>